



### かど 門脇邦弘氏

組織蘇生センター代表  
生き生き村 村長  
NEXT LEADER 研究会 キャンパスリーダー  
東京で生まれ、佐賀県、群馬県で育つ。  
神奈川県厚木市のソニー学園高等学校で教壇に立ち、働きながら学ぶ生徒たちと共に過ごした体験を生かして、民間教育実践家として「21世紀の主役たちを育てる」ことを目指して活躍中である。  
また、全国各地の企業に招かれ、組織の活性化やチームワーク化の応援指導を行っている。その活動は150社を越え、海外にも及んでいる。教育理念は、『与え過ぎず、教え過ぎず、失敗は宝なり』と『教育は共有なり』であり、その理念は生き生き村やNL研を通して実践されている。



## 21世紀を生きる子供たちに輝く笑顔を!!

去る5月19日(月)地球市民ジュニア育成委員会(笠下裕司委員長)では、私たちは地球市民として個々の意識を変えていかなければならない、との考えから、講師に「生き生き村」の村長として、また「チームマネジメント」の講師としてご活躍されている門脇邦弘氏をお招きし、お話を伺いました。

### 本当にあった笑えない話

最初に2つの事例をお話しします。  
4、5年前、ある会社に超一流の国立大学を出た若者が入ってきました。彼は東京生まれ東京育ちの一人っ子でした。入社後1ヶ月間の新入社員教育を終えて5月の連休明けに岡山支社に配属になりました。配属後3週間くらいしたある朝、雨が降ってきたそうです。するとその彼が大変落ち着かない。デスクに座りながら窓の外をきょろきょろ見ているそうです。課長さんが「どうした」と聞くと、「雨が降ってきました」「そうだねえ、それで?」「傘を持ってきてない」「そうかそれはこまったな、でも夕方になれば止むかもしれないし、誰かに入れてもらったっていいじゃないか」と言ったのですが、昼を過ぎてもそわそわしてる。そこで「傘を取りに帰りなさい」と言ったところ、岡山から新幹線に乗って東京の実家まで傘を取りに行っちゃったっていうんです。

次の例ですが、ある方が親類の結婚式の披露宴によばれて行くと、新郎が披露宴の最中におしっこをもらしちゃったそうです。その理由は披露宴の始

まる前にお母さんがおしっこに行きなさいって言わなかったからだそうです。この2つの話は本当にあった笑えない事実で、最初の彼はまもなく7月のはじめに会社を辞め、次の彼は即離婚されたそうです。これは非常にオーバなエピソードかもしれませんが、私はどうしてこんな子供が育っちゃうんだろうかと非常に興味があります。

### 「うんわかった」から「うるせえババア」へ

私はこういう仕事をしているものですから、全国をあちこち走り回っています。「生き生き村」で学んだ子供たちの家庭によくおじゃまするんですが、次の日の朝、子供が「いってきます」といって学校に出かけていくまでの間のお母さんの口数の多さにびっくりします。

「起きなさい」からはじまって「トイレ行ってらっしゃい」「顔あらった?」「歯磨いた?」「ご飯よ」「よく噛んで」「ほら野菜も食べなくちゃ」「こぼさないで」「忘れものは?」「宿題はしたの?」「ティッシュ持った?」と、次から次へ「早く」と、「だめ」とが機関銃の様に出てきます。こういうお母さんは先ほど例に出した子供たちを

育ててしまう可能性があるんです。

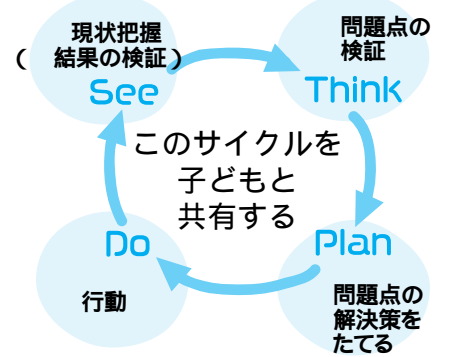
小さい頃はお母さんに言われると、「うんわかった」「ありがとう」といっていますが、そのうち「わかったよ」「わかってるよ」「うるせえババア」に変わってきます。それは子供からすればどうしてそんなに分かり切ったことを何度も言うんだよということになってきます。

これは非常に難しい問題です。親としては自分の子供がかわいいので、失敗させたくない、恥をかかせたくないと考えます。それで、今日は雨が降りそうだから傘を持って行きなさいとか、お昼にはおしっこするんですよと言います。子供たちは「うんありがとう」といって非常にいい関係が続きます。これは親からすればうちの子供は何でも言うことを聞く素直ないい子だということになりますし、子供からすれば親の言う通りにやっていたら失敗する事もないし恥をかくこともない、その上親からいい子だと思われる。とてもいい関係がずっと続いていってしまいます。

### 子育ての基本方針は3つある

しかし、これは子供たちの自分で考える機会を奪っていることになるんです。私は子育ての基本方針は「抱きしめ」「突き放し」「共に歩む」ということだと思っています。現在問題なのはただ単に抱きしめすぎであったり、突き放しすぎでありその両方が問題を

### チームマネジメントの考え方



生んでいるのだらうと思っています。ほかに子供たちを取り巻く問題として、物が豊かになり過ぎていたり、子供が少ないとか、外で、特に縦の集団で遊ぶことが少ないとか、近所に叱ってくれる大人がいないとか、様々な問題を抱えています。

そこで私はこのような問題のために「子供たちが生き生きしていないな」と思い「生き生き村」というものを開催しています。そこでは、グループを作って行動をしますが、このときの指導の仕方として、人をだめにするやり方は、指示命令型、放任型、脅迫型、哀願型、等あります。

チームマネジメントの考え方で、事実をグループのみんなで見て(See)ポイントを見つけて(Think)プランをたてて(Plan)行動する(Do)というやり方をしていかなければ子供たちは育ちません。こちらがこうすべきだという答えを持っていると子供たちは考える力を失ってきます。まずSee Thinkで情報の共有化をし、プランをたて行動していかなければなりません。

子供たちが「生き生き」と生きるためには、私たち親(大人)は、子供たちに問題を一方的に押しつけた命令ではなく、子供たちと一緒に状況を共有し取り組む課題を明確にしていかなければいけません。そうすることによって子供たちは自ら状況を判断し、決断し生き生きと行動していきます。本年度地球市民ジュニア委員会では、夫婦、親子、家族、そして住んでいるところ、地域から見つめ直し「人とのふれあい」「地域とのふれあい」「自然とのふれあい」を基盤として、まず私たちの出来る身近なところから始めようと活動をしています。子供たちを取り巻く環境はますます複雑な時代になってきていますが、個々の意識を変えることによって少しずつ変えてゆければと考えております。



信じられないことがまた起こった。神戸市の小学6年生、土師淳君殺害事件である。その凶行についてはいまさら説明する必要もないだろうが、その残酷かつ非道な行為に恐怖を覚えるとともに、同じような事件を思い出した。それは約10年前に起きた宮崎事件である。幼女数名を殺害し、その一部を食べていたというこのショッキングな事件は忘れられないだろうが、この裁判は先日その判決が下されたが、これにもまた驚かされた。裁判所は被告について、極端といえる性格の偏りがあり、異常性格であるとしなが

らも、精神障害ではないと判じたのである。戦争といった異常な状況ならまだしも、現在の平和な日本に於いて、このような残酷な行為を為し得るといって、この判決は示唆している。神戸市の事件はこれを執筆している現在、その犯人像にはなんら具体性がないため必ずしもそうとは言えないが、声明文等からの専門家の判断は同様な可能性を指摘している。幼児は平気で人形の首を抜き、昆虫の羽根をむしるが、物を大切に心や命に対する愛情を

知ることにより次第に自分以外との接し方を学ぶ。これはその後、保育園や幼稚園、小学校、中学校とかかわる対象が多く複雑になり、社会が広がるのに伴って、親、教師、地域の人といったそこにかかわる社会人の助力をうけながら、徐々にその能力を高めていき、実社会で社会生活を営めるまでに育って行くのだらう。これらの事件を起こした、そして起こし得る人物とは、はたしてどのような社会で育ち、そこにいた人たちとどの様に接してきたのだろうか。事件の早期解決と、今後二度と同様の事件が起きない事を切に望む。







# 第22回三原やっさ祭りのお知らせ

8月8日(金)〔踊り〕・9日(土)〔踊り〕・10日(日)〔花火〕

あの大人気番組が **ついに** 三原にやって来る!!

## 「出張なんでも鑑定団」in 三原やっさ

**鑑定依頼品  
募集中!!**



三原やっさ祭りに、「出張なんでも鑑定団」がやってきます。

三原やっさ祭り実行委員会では、鑑定依頼品を募集中です。どうぞ、奮ってご応募ください。

応募締切

7月8日(火) 当日消印有効

応募方法

実行委員会にお問い合わせの上、所定の鑑定依頼書にご記入され、カラー写真を同封して封書にてご郵送ください。

品物のカラー写真を必ず同封して下さい。

(サービス判サイズで、写りのいいものに限ります)

現物は絶対に送らないでください。

同封していただいた書類、写真は原則としてご返却いたしませんのであらかじめご了承ください。

匿名希望の方は応募をご遠慮願います。

収録日時

8月9日(土)13:00~15:00予定

選考

番組の収録時間の都合で鑑定の数が限定されます。番組製作会社で選考の上、当選の方のみ、7月下旬までにご連絡させていただきますことをあらかじめご了承ください。

豪華賞品多数!

### 第8回やっさゴルフ大会参加者募集中!

参加者の中から抽選で海外旅行が当たる!

日時

- 7月3日(木) 久井カントリークラブ ☎084732)7141
- 7月8日(火) 本郷カントリー倶楽部 ☎0848)86-5155
- 7月14日(月) 三原カントリークラブ ☎0848)66-0321
- 7月23日(水) 涼覧カントリークラブ ☎0848)66-2211

申し込み 各会場へ直接お申し込み下さい。

参加料 3,000円(プレー費はやっさゴルフ特別料金)

参加料・プレイ費・飲食費は各会場にて精算いただきます。

参加者全員に参加賞。

表彰式

8月7日(木)18:00~ やっさ屋台村  
1ドリンク1フーズのチケットを受付時に配布。追加は実費  
航空チケットが当たる抽選会を開催!

またあの暑い夏がやってきた!

### YASSA BATTLE'97

スペシャルゲスト  
**Bluem of Youth**

グランプリには賞金15万円!!

応募締切

7月25日(金) 当日消印有効

応募資格

ジャンルはポップス、ロック等バンド形式のもの。

バンドの人数は限らない。

参加メンバーの年齢、国籍等は問わない。

応募方法

所定の参加申込書に必要事項を記入の上、演奏1曲を収録したテープに曲名、バンド名を明記の上、郵送にて申し込み

下さい。

- ・オリジナル、コピーいずれも可
- ・参加無料

アマチュア  
バンドコンテスト  
応募要項



### 「やっさ踊り」出場チーム募集

応募資格

- ・市内・市外を問わず企業、町内会、同好会等の単位で踊り手、はやし方を含めて20名以上のチーム編成が望ましいのですが、少人数でも大歓迎です。(個人での参加も可能です。詳しくはフリー参加募集要項をご覧ください)
- ・地方(離子方)については、三味線、太鼓等に限りません。

応募締切

6月23日(月)

出場日時

8月8日(金)  
大人やっさ19:15~22:00

8月9日(土)

子供やっさ19:00~  
大人やっさ18:30~22:00



### フリー参加チーム 参加者募集

やっさ祭りが大好き! 踊りに参加したい!!  
でもチームがない...そんな思いの人大集合!!

出場日

8月8日(金)・9日(土)18:30頃

申込方法

官製ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、お申込下さい。  
電話・FAXでも受け付けます。  
ぜひご参加下さい。



### やっさ教室のご案内

今年も下記日時によりやっさ教室が開催されます。

やっさ踊りの基本を十分修得してやっさ祭りに参加しましょう。

日時

- ・6月27日(金)-地方のみ
- ・7月3日(木)・10日(木)・17日(木)・24日(木)・31日(木)-踊り及び地方
- ・18:30~20:30

場所

三原市中央公民館

問い合わせ

三原市商工観光課 ☎67-6074

### 「小早川隆景展 三原城築城とやっさ踊り」への出展協力のお願い

本年が「小早川隆景」公の没後400年にあたることから、三原やっさ踊りが、毛利元就の三男「小早川隆景」公による三原城築城を祝って始められた踊りであることをPRし、やっさ踊りの歴史的文化的側面を一人でも多くの方々に認識していただきたいと考え、企画いたしました。

内容

- ・写真パネルと三原城模型の展示を主とし、年表や解説文なども掲示します。(展示物は、保険が不要で無償で貸し出ししていただけるものをお願いいたします。)
- ・入場無料

- ・8月10日(日)開催予定の「隆景ゆかりの地を巡る やっさウォークラリー」のポイントの1カ所とします。

日時

8月5日(火)~  
18日(月) 予定  
場所  
ペアシティ東館  
1Fロビー



### やっさ祭りへのご協賛のお願い やっさハガキ、ご存じですか?

やっさ祭り実行委員会では、毎年、市民の皆様へ各戸200円のご協賛をお願いしております。

市民の皆様からいただく協賛金が、三原やっさ祭りを運営する貴重な財源になっています。本年も、何卒よろしく願い申し上げます。

なお、協賛のお礼として、やっさハガキを進呈させていただいております。

是非、遠方のご友人等への暑中見舞いなどにお使い下さい。



### 「やっさ踊り」一般審査員募集

~あなたもやっさ踊りの審査員になってやっさ踊りに参加してみませんか~

応募資格

- 18歳以上(性別は問いません)
- 但し、打ち合わせに参加できる方(1回程度)

審査日時

三原やっさ祭り「やっさ踊り」  
8月8日(金)19:15~22:00  
9日(土)18:30~22:00

申込方法

所定の用紙にご記入の上、お申し込みください。

申込締切

7月9日(水)(当日消印有効)

発表

応募の締切後、抽選の上委任状の発送をもって発表にかえさせていただきます。

以上すべての問い合わせ先

〒723 三原市皆実町1331-1

三原商工会議所内

三原やっさ祭り実行委員会

TEL(0848)62-6155

FAX(0848)62-5900

**投稿募集  
ちよっと一言**  
本紙では投稿を募っています。市民の皆さんの身近なご意見をお聞かせください。お待ちしております。(四百字程度)なお掲載分については粗品を進呈いたします。